

# 駒澤大学 1-0 東海大学



## 立石の決勝弾

## 待望の後期 2 勝目!

ゴールを決め、碓井に駆け寄る立石(撮影: 向江凌理)

9月22日 13:50 東海大学湘南校舎サッカー場

駒大 1 (0-0) 0 東海大 (1-0)

得点者 (アシスト)

[駒]76分立石(碓井)

### KOMAZAWA

GK②野村政孝(4)  
DF⑬大木 暁(3)  
DF④平尾優頼(3)  
DF⑤伊藤慎人(3)  
DF③田中雄一(4)  
MF⑥若山瞭太(4)  
MF⑦碓井鉄平(4)  
MF⑦平野篤志(2)  
(71分)⑩立石忠之(2)  
MF⑩吉岡雅和(1)  
(HT)⑪小牧成亘(3)  
FW⑩山本大貴(4)  
(59分)⑦ケンデセン(1)  
FW⑨小牟田洋佑(3)

### S U B

GK②檜山昇吾(4)  
DF②友廣壮希(4)  
DF③種岡岐将(1)  
MF④久永翼(2)

### MANAGER

秋田浩一

### TOUKAI

GK⑨内山圭(2)  
DF⑫木村竜也(2)  
DF③小山真司(4)  
DF⑥小野能寛(1)  
DF⑤元田涼介(4)  
(61分)②太田代飛鳥(3)  
MF⑩永吉惇起(2)  
MF⑩溝口晃大(1)  
MF⑩赤井雅哉(1)  
(64分)⑮和田貴仁(2)  
FW⑯寺尾俊祐(2)  
FW⑯北原大奨(1)  
FW⑯吉田祥太(4)  
(81分)⑭羽毛勇斗(1)

### S U B

GK②椎橋拓也(3)  
DF⑦水橋法彦(3)  
MF⑬森田努(2)  
FW⑯宮地建樹(1)

### MANAGER

後藤太郎

[シュート]10:5 [GK]8:8 [CK] 12:6 [直接FK]12:12  
[間接FK]10:8 [主審]磐城巧 [観衆]133人

警告(C) / 退場(S)

[駒]66分 山本大貴(c) [東]18分 元田涼介(c)  
[駒]71分 小山真司(c)

### ピンチを乗り越え手に入れた 勝ち点3

前節の平国大戦で、試合終了間際に同点弾を決められなかなか勝利を掴めない駒大。この悔やまれる空気を払拭するためにも、なんとしてでも勝ち点3が必要だった。今節対する東海大は今季最下位に低迷しているが、そう油断してはならない。駒大にとって今後の試合模様を左右する勝負に、復帰直後の山本も先発に加わり駒大イレブンには挑んだ。

試合開始から、前線からのディフェンスを徹底し前半序盤から駒大ペースが続く。ディフェンスで奪ったボールを平野がドリブルで持ち込み、吉岡や山本、小牟田の2トップが何度もゴール前まで迫るが得点には至らず。22分、吉岡がエリア中央付近で落としたボールを碓井がすかさずミドルシュートを打ち相手ゴールを脅かすが決めきれず。中盤、東海大に裏のパスを何度か通されるが、ディフェンス陣の安定した守備によりそのまま前半を0-0で折り返す。

しかし、後半の立ち上がりから流れが変わった。東海大に再三決定的な場面をつくられ、エリア

内でシュートを打たれるも、左手1本でゴールを死守した野村の好セーブもあり、なんとか逃げ切る駒大。この危ない時間帯を抜け出したい、そんな矢先にアクシデントが起こった。59分、相手から奪ったボールを山本がドリブルで駆け上がった先に待っていたGKと接触し、そのまま負傷退場。会場に緊張と不穏な空気の流れた。しかし、そんな不安を消し去るかのように、ハーフタイムに投入された小牧を筆頭に再び攻勢が続く。そして66分。碓井の右サイドからの鋭いクロスを、立石がヘディングで押し込み待望の先制点を獲得。その後何度か攻め込まれるが、必死のディフェンスでゴールを守りきりそのまま試合終了。立石のヘディングが決勝弾となり、勝ち点3を手後に後期2勝目を挙げた。

次節は、現在首位を維持する東国大に6-1で大勝を挙げ、良い雰囲気と言える法政大と勝負を争う。しかし、山本退場というピンチを切り抜け勝利を掴んだ駒大の団結力も強い。「(決勝弾は)山さんのためにといいのもありました」と立石は話した。この勢いで、目前に迫った首位を勝ち取ってほしい。(小金沢 遥)